



地域振興 財政健全化 安全・安心のまちづくりへ 平成21年度予算を編成

平成21年度の田川市一般会計予算が、総額244億2,207万円に決まりました。
伊藤信勝市長が3月議会で述べた所信をもとに、予算編成の概要をお知らせします。

平成21年度の 予算編成について

昨年からは始まった世界的な金融危機は、国内経済にも深刻な影響を与えました。全国で失業者が増し、9月以降、市内在住者においても100人以上が失業者となりました。本市はすぐに、緊急経済・雇用対策本部を設置し、相談窓口を開設して対応してきたところです。今年度は緊急雇用創出事業などを実施し、支援体制の強化を図っていきます。

一方、本市の財政状況も依然として逼迫した状況が続いています。この状況から脱却するため、行政改革や歳入確保対策に鋭意取り組んでいくところです。この取り組みにより、人件費の縮減が進み、また、公債費負担の軽減の兆しが見えてきています。2つの効果が将来の財政健全化につながるよう行政運営に取り組んでいきます。

平成21年度予算は、このような状況を踏まえて編成しました。一般会計当初予算は、総額244億2,207万円で、前年度と比較すると2億6,370万4千円、1.1%の増となっています。

一般会計歳出

○人件費
一般会計の職員数は383人で、

○労働費
「ふるさと雇用再生特別交付金事業」と「緊急雇用創出事業」の経費を計上し、雇用機会の創出に取り組めます。

○農林業費
農道や水路などを改良する「農村環境整備事業」と、農業用水を安定確保する「ため池整備事業」の経費を計上しています。

○商工費
「田川市企業誘致及び育成に関する条例」に基づき、雇用を促進した企業に助成する企業誘致育成奨励金を計上しています。商店街振興対策補助金や中小企業設備近代化資金等融資預託金など、商工業振興のための経費を計上しています。

○土木費
本市管理の橋りょうを長寿命化するための「橋りょう長寿命化点検調査委託料」、都市計画道路整備計画を見直すための「都市計画道路検証業務委託料」、市営住宅の今後のあり方について基本的な方向性を定めるための「住宅マスタープラン策定委託料」を計上しています。また、福祉のまちづくり整備事業費として、公共施設などをバリアフリー化する経費を計上しています。

○消防費
災害などの緊急情報を迅速に市民に伝えるため、老朽化した防

前年度に比べ31人の減員となっています。職員人件費の総額は34億3,058万7千円で、対前年度比は3億2,645万9千円、率にして8.7%減となっています。

○総務費
まちづくりの基本計画となる「第5次総合計画」を策定するための経費を計上しています。計画を遂行するために、事務事業を評価する「行政評価システム」を導入します。また、情報開示を迅速に行うために「ホームページ作成・管理システム」を導入します。

○民生費
ここ数年、民生費は110億円規模で推移しており、21年度は歳出の45%を占めています。特に生活保護費は他団体と比べて突出しており、その対策は本市の課題の一つです。しかし雇用環境は依然厳しく、今後も生活保護費の増加が見込まれます。保護率は、昨年度比で1.3ポイント増の51.2パーミルを見込んでいます。今後も自立支援に力を注ぎ、適正な生活保護行政に取り組んでいきます。

○衛生費
妊産婦健診の充実を図ります。安全な出産を行うためには、14回程度の健診が必要といわれています。そのため、公費負担回数を3回から14回に拡充します。

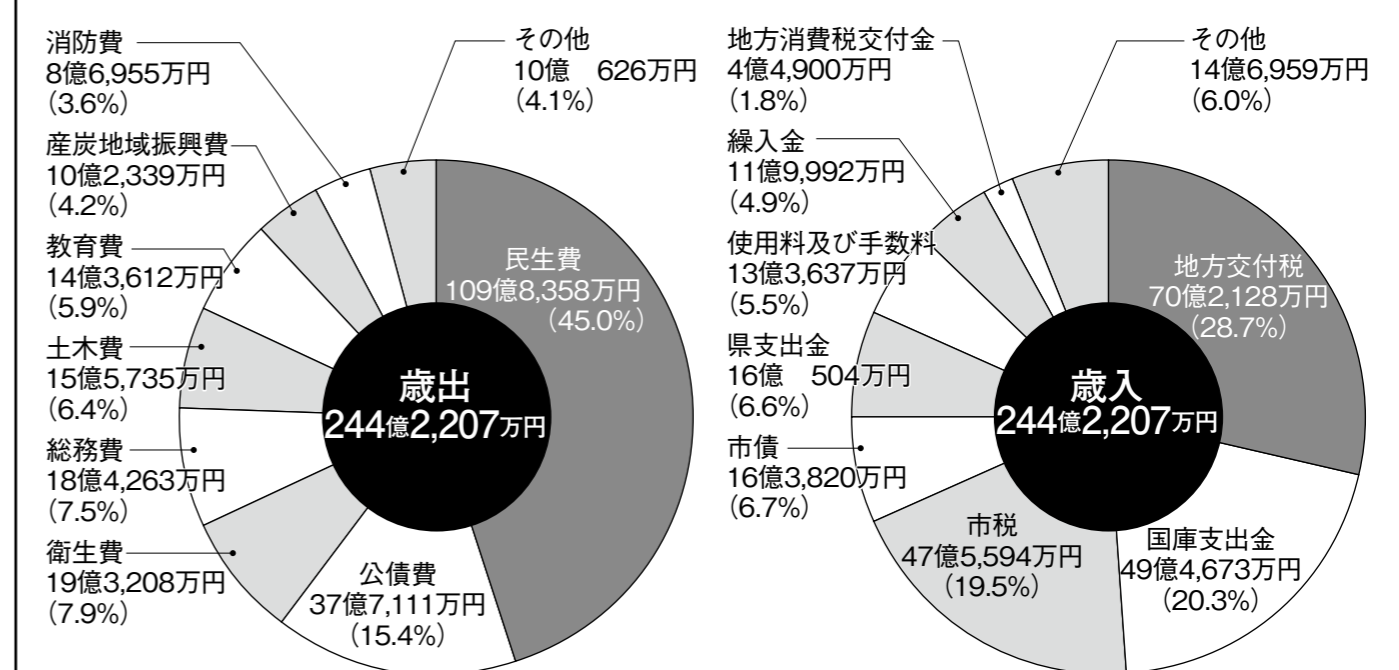
○教育費
小・中学校4校の耐震補強工事の設計委託料を計上しています。また、耐力度調査で危険建物と診断された中央中学校の屋内運動場を改築するための設計委託料を計上しています。また、伊田堅坑(いまだけんこう)と二本煙突(にっぽんえんすつ)を含む九州・山口の近代化産業遺産群の世界遺産登録を目指す「世界遺産登録推進協議会」の負担金などを計上しています。

○産炭地域振興費
特定地域開発就労事業従事者暫定就労事業の平原住宅団地造成工事費と、企業誘致のための土地を造成する万年池整備工事費を計上しています。

○市税
世界的な景気後退の影響もあり、雇用環境が改善しないことから、本市では非常に厳しい経済状況が続いています。そのため、個人・法人市民税の大幅な減収を見込まざるを得ません。新築・増築家屋の増加などで固定資産税の増は見込まれますが、市税全体では昨年と比べ、約1億7,600万円の減収見込みとなっています。

○普通交付税
国の総人件費改革などの方針に基づき、給与関係経費の見直しなどで減額が想定されます。前年に比べ約1億円の減少を見込んでいます。

平成21年度当初予算 一般会計



※千円以下は四捨五入しています

特別会計

○国民健康保険特別会計
66億3,212万円を計上しています。

○老人保健特別会計
平成22年度で廃止となり、後期高齢者医療制度に移行します。6,875万6千円を計上しています。

○後期高齢者医療特別会計
7億5,282万6千円を計上しています。

○休日救急医療特別会計
9,469万7千円を計上しています。

○住宅新築資金等貸付特別会計
1億1,339万2千円を計上しています。

○田川市等三線沿線地域交通体系整備事業基金特別会計
平成筑豊鉄道の施設整備に対する補助金など、2億6,349万9千円を計上しています。

【収益的収支】
収入 11億9,028万1千円
支出 11億7,18万6千円

【資本的収支】
収入 1億3,768万円
支出 2億9,481万7千円

○病院事業会計
昨年、院外処方(院外薬局での薬の受け取り)に切り替えられたため、薬品費が削減されました。また原油価格の高騰が収まったため、前年度に比べ、燃料費が大幅に減っています。しかし、医師不足が収益に大きく影響しており、収入に対して支出が3億5,606万5千円上回る予算編成となっています。不良債務の解消に向けて、今後も努力していきます。病院経営を取り巻く環境は厳しい状況が続きますが、医師をはじめとする医療スタッフの確保を最重要課題として、市をあげて最善の努力を尽くしていきます。

○国民健康保険特別会計
66億3,212万円を計上しています。

○老人保健特別会計
平成22年度で廃止となり、後期高齢者医療制度に移行します。6,875万6千円を計上しています。

○後期高齢者医療特別会計
7億5,282万6千円を計上しています。

○休日救急医療特別会計
9,469万7千円を計上しています。

○住宅新築資金等貸付特別会計
1億1,339万2千円を計上しています。

○田川市等三線沿線地域交通体系整備事業基金特別会計
平成筑豊鉄道の施設整備に対する補助金など、2億6,349万9千円を計上しています。

【収益的収支】
収入 50億9,792万2千円
支出 54億5,398万7千円

【資本的収支】
収入 2億8,495万6千円
支出 5億6,756万1千円